

# 『非認知能力・自己肯定感を育む子育てを応援する家庭教育支援の推進』

特定非営利活動法人子ども達の環境を考えるひこうせん



## 目的

家庭教育支援に携わる方々を対象に、「非認知能力」や「自己肯定感」の意味を学ぶ機会や、その伝え方を体感できるプログラムを提供する。また、音楽や絵本などを取り入れ、心で感じる内容をプログラムに組み込むことにより、支援者自身のエンパワメントを促進したり、参加者同士のつながりを築く機会とする。

## 事業内容

### ◆支援者同士が学び合うための機会づくり

- 日時：令和4年10月4日(火)13:30～16:30 ○場所：岡山市立上道公民館
- テーマ：『子どもの非認知能力・自己肯定感を育むために子育て支援者としてできること』
- プログラム内容
  - ・非認知能力ショートプログラム（岡山県教育委員会推奨）の体験  
～非認知能力を育む子育て～「がんばった、がんばっている姿を大切にしよう！」
  - ・講話『自己肯定感の大切さ』 講師：赤迫康代  
(NPO 法人子ども達の環境を考えるひこうせん・認定子育てハッピーアドバイザー及びマイスター)
  - ・絵本『ええところ』の読み聞かせ
  - ・心を育む演奏会(演奏者：ねりあるき楽団えっこん)
  - ・交流タイム
- 参加人数：33名（岡山県社会教育関係者、子育て支援 NPO 団体、地域おこし協力隊等）  
\*見学者5名含む(岡山県・岡山市行政職員)

### ◆自己肯定感の大切さを伝えるオリジナルファイルづくり

子育て中のお母さんの「子どもへの想い」をメッセージとして載せたクリアファイルを作成し資料の一部として参加者に配布



自己肯定感の上に非認知能力があり、それを育てることにより、認知能力に良い影響がある事が強く印象に残りました。



非認知能力のワークショップを体験できて、進行の仕方や伝え方のポイントがとても勉強になりました。

ワークショップの時間もたっぷりあり、お互いの考えを共有できました。子育てに関する一人一人の考えの違いにふれ、刺激になりました。



頭で考える知識を得るだけでなく、音楽・絵本など心で感じる会を体感でき、感動しました。これこそ非認知能力ですね。

家庭・子ども・関わる親子さんに大切さをお伝えしたいです。そのためにも学び続けようと思いました。

子ども達やお母さんにしっかり寄り添い、人生って楽しいってことを伝えていけたらいいな。

## 事業を実施して見えてきたこと・成果

- ・「自己肯定感や非認知能力を心で感じる学び」の形を、県内各地の支援者の方々へ提案することができた。
- ・自己肯定感の講話から、自己肯定感が非認知能力の土台になっていることを再確認される方が多かった。
- ・大人が子どもの体験の中のプロセスから価値(いいところ)を見つけ、その価値を意識できるような関わりをしていくことで子どもの非認知能力を伸ばしやすくなるということに気づくことができる機会となった。
- ・非認知能力のショートプログラムを支援者自身が体感し、講師の進め方など実践につなげる糸口となっていた。
- ・ワークショップ形式の中で、色々な立場の方と意見交換することで、お互いの考え方に刺激を受けたり、気づきを得ていた。共感できたり、話を聞いてもらう心地よさを感じ、子どもへの関わりに活かしていこうとする気持ちにつながっていた。
- ・演奏会や絵本の読み聞かせなど、心で感じて頂くプログラムによって、自分自身を振り返ったり、大切な人のことを思う時間にもなり、支援者自身が自分を元気づける力になっていた。
- ・子ども自身が持っている大切なものを守り、輝かせるためには、大人の関わりが重要であること、そのためには大人同士も認め合う温かい人間関係の構築を地域全体に広めていきたいとの思いを全体で共有できた。

## 今後に向けて

非認知能力に関する講座に取り組みたい支援者の応援をしていくなど、県内に学びが定着していくよう働きかけていく。